

「生涯の終わりをよく見て」 シラバス

講師

古田大展 牧師（活けるキリストー麦教会）

概要

このクラスでは、聖書の登場人物の最期の姿から、クリスチャンの死とは何であるかを知り、この地上の生涯の終わりに向けての心構えを学びます。授業は主に講義のスタイルを取りますが、クラスの中で問われる質問を考え、また答える時間が予定されています。

授業の目的

このクラスを取ることで、以下について知ることができるようになります。

- 聖書の登場人物の姿から、クリスチャンにとっての死の意味を知る
- 自らの生涯の終わりを考え、備える
- いのちと祝福について聖書から考えを持つ
- 後継者について思いを巡らす
- 聖書より、死後クリスチャンに起こる出来事について考える

授 業 予 定

1. 「生涯の終わりをよく見て」 ヘブル人への手紙13章7節
 - * 授業の前までに、あなたの最期のことばについて思いを巡らしてみてください。
 - * 詩篇90篇を読んでおいてください。
2. 「エノク 神と歩む幸せな生涯」 創世記5章24節
 - * 死を経験せずに天にあげられた聖書の登場人物には誰がいるでしょう。考えてみてください。
 - * 古い賛美に「主とともに歩む」という賛美があります。文語の歌でわかりにくいかもしれませんが、検索して歌詞を読んでみてください。
3. 「サラとアブラハム 祝福のバトンを次に」 創世記25章5節
 - * あなたにとってかけがえのない人とは誰でしょう。考えてみましょう。
 - * 可能であれば、このクラスの前か後で、その方に愛と感謝を伝えてみましょう。
4. 「ヤコブ 信仰の家族に加えられる」 創世記49章29節
 - * クリスチャンには死んだ後どんなことが起こるか考えたことはありますか。たましいはどのようなになるのか。「からだのよみがえり」とは何を意味しているのか、考えてみましょう。
 - * この地上にあるけれども、天国にはないものは何でしょう。授業の前に考えてみましょう。